2026 年 11 月 19 日

各位

会 社 名　株式会社カナミックネットワーク
代表者名　代表取締役社長　　山本　拓真
（コード番号：3939　東証プライム市場）

「カナミッククラウドサービス AISaaS」が全 14 部門の頂点に
「ASPIC AI・クラウドアワード 2026」最高位の「総務大臣賞」を受賞

株式会社カナミックネットワーク（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：山本拓真、以下「当社」）は、一般社団法人日本クラウド産業協会（ASPIC）が開催する「ASPIC AI・クラウドアワード 2026」において、当社の「カナミッククラウドサービス AISaaS」が、全 14 部門の中から最も優れたサービスに贈られる最高位の賞「総務大臣賞」を受賞しましたので、お知らせいたします。

2026 年 11 月 18 日に経団連会館（東京都千代田区）で開催された表彰式では、当社代表取締役副社長 山本景士が登壇し、表彰を受けました。



写真：ASPIC AI・クラウドアワード 2026 表彰式の様子（2026 年 11 月 18 日 経団連会館）
（左から：総務省 島田智明総務大臣政務官、株式会社カナミックネットワーク 代表取締役副社長山本景士、一般社団法人日本クラウド産業協会 河合輝欣会長）

■受賞の概要

・受賞名　　：総務大臣賞
・アワード名　：ASPIC AI・クラウドアワード 2026（第 19 回）
・受賞サービス：カナミッククラウドサービス AISaaS
・応募部門　　：AI社会業界特化系ASP･SaaS部門（AIクラウドサービス部門）
・表彰式　　：2026 年 11 月 18 日（水）経団連会館 2 階「国際会議場」
・開催　　：一般社団法人日本クラウド産業協会（ASPIC）
・後援　　：総務省 ほか
・詳細　　：https://www.aspicjapan.org/event/award/19/index.html

■「ASPIC AI・クラウドアワード」について

「ASPIC AI・クラウドアワード」は、社会に有益かつ安心・安全なクラウドサービスの普及と市場拡大を目的として 2007 年に創設された表彰制度で、今回で第 19 回を迎えます。第 1 回から総務省の後援を受けており、これまでの累計表彰実績は 1,200 件を超えます。

今回は、AI クラウドサービス部門（7 部門）とクラウドサービス部門（7 部門）の計 14 部門で募集が行われ、多数の応募の中から、学識経験者・有識者等で構成される審査委員会による書類審査・プレゼンテーション審査を経て各賞が決定されました。「総務大臣賞」は 2015 年に創設された本アワードの最高栄誉の賞であり、全 14 部門の中から最も優れたサービスに授与されるものです。

※ASPIC プレスリリース【ASPIC クラウドアワード 2026「総務大臣賞」及び「各賞」を発表】
https://www.aspicjapan.org/event/award/19/pdf/press_261118.pdf

■受賞サービス「カナミッククラウドサービス AISaaS」について

「カナミッククラウドサービス AISaaS」は、当社が 2000 年から提供してきた地域連携型クラウドサービス「カナミッククラウドサービス」に、介護・看護業務に特化した AI エージェント群「AI100-Vision」を統合した介護 AISaaS です。全国 62,000 事業所・利用者 40.0 万人（2026 年 9 月末時点）にご利用いただいている社会インフラの上で、AI による業務支援を提供しています。

AI は SaaS の業務プロセスにあらかじめ組み込まれており、利用者がプロンプトを工夫する必要はありません。業務の把握、情報収集、分析・構造化、文書生成を専門エージェントが分担するマルチエージェント型の構成で、記録から帳票、会議、訪問、事務まで、現場の「作業」を AI が引き受けます。一方で、生成された内容は看護師やケアマネジャー等の専門職が最終確認・確定する設計とし、AI 単独での意思決定は行いません。

■介護現場の課題と AI による解決

介護現場では、人材不足が続く中で、記録・書類作成・事務作業が職員の大きな負担となっています。当社は、こうした「判断」ではない「作業」を AI に任せ、職員が判断とケアに時間を使える環境づくりを進めています。主な課題と、当社の AI 機能による解決は次のとおりです。

介護現場の課題	カナミッククラウドサービス AI 機能	介護現場の課題解決・抑止できること
【書類作成】 ケアプラン・計画書・報告書・モニタリングを毎回一から書き起こしており、残業や持ち帰り仕事の原因に	**AI 帳票作成／ケアプラン AI 作成支援** 日々の記録やアセスメント情報から、帳票の原案を AI が作成。確認・確定は専門職が行います	**計画書・報告書の作成時間を約 83%削減（※1）** 白紙から書く時間がなくなり、内容の検討やケアに時間を充てられる

介護現場の課題	カナミッククラウドサービス AI 機能	介護現場の課題解決・抑止できること
【介護記録】 介助中は端末に触れず記録が後回しに。現場のメモを事務所で打ち直す二重入力や、日本語での記録に苦労する外国人職員も	**AI 音声介護記録／インカム連携** 話すだけで AI が必要な項目を聞き取り、記録に整理。インカム（Buddycom・LINE WORKS ラジャー）なら端末に触れずに記録でき、母国語で話しても日本語で記録されます	**打ち直し（二重入力）をなくし、記録にかかる時間を月約 8.4 時間から約 1.5 時間に（※1）** 記録漏れや記録内容のばらつきを抑止
【会議・問い合わせ】 サービス担当者会議などの議事録づくりが持ち帰り仕事に。操作方法や制度改正の疑問を調べる時間も負担に	**AI 議事録／AI チャットボット** 会議の音声から文字起こし・全体要約・話者別要約を自動作成。操作方法や制度の疑問には AI がその場で回答	**会議後すぐに関係者へ共有でき、記憶が新しいうちに確認できる** 調べものの時間を月約 3.7 時間から約 0.6 時間に（※1）
【移動・転記】 訪問の巡回順が経験と勘に頼りがち。被保険者証の内容を毎回手で入力	**AI 訪問ルート／AI-OCR** 地図・移動時間・資格・NG 条件などを踏まえて日別の訪問ルートを自動生成。被保険者証はスマートフォンで撮影するだけで読み取り、自動登録	**移動距離を約 15%改善。短縮した時間を記録や情報共有に活用** 転記の手間と入力ミスを抑止
【請求・経理事務】 月初の請求業務や加算・経理事務が管理者の残業に。「事務員が辞めたら請求が止まる」という属人化のリスクも	**かんたん AI ロボシリーズ（介護事務 AI ロボ・経理 AI ロボ）＋FDE サービス** 定型事務を AI ロボが実行し、人は承認するだけ。処理の根拠を記録。事業所独自のルールには現場密着型のエンジニア（FDE）が専用 AI で対応	**定型事務に人がかける時間を月 1〜2 時間程度の承認作業にすることを目指す（※2）** 事務の属人化を解消。処理履歴は運営指導などでの説明にも活用

※1 導入後、当社ユーザーへのヒアリングもしくはタイムスタディ調査に基づく当社推計（1 人あたり月間）
※2 当社モデル試算（現場での実測前）



図. カナミッククラウドサービスで提供している主な AI 機能

■AI 活用による介護事業所・スタッフの皆さまへの恩恵

スタッフの皆さまへ

・記録や書類のための残業・持ち帰り仕事が減り、利用者と向き合う時間が増えます。直接ケア業務の割合は、ICT 導入後の 54%から、AI 活用により 65%への向上を見込んでいます（※4）。
・操作は「話す」「撮る」「押す」が中心です。IT が苦手な方も、日本語での記録に不安がある外国人職員の方も、無理なく使えます。
・AI がつくるのは下書きまでです。確認・確定するのは専門職であり、スタッフの判断と専門性を生かしながら負担だけを軽くします。

介護事業所の皆さまへ

・事務負担の軽減により、職員の定着や採用力の向上、限られた人員での安定した事業運営につながります。
・記録・帳票の標準化によりケアの質のばらつきを抑え、事務の属人化や記録漏れといった運営上のリスクを抑止します。
・AI の処理履歴と根拠が残るため、運営指導などでの説明にも活用できます。
・必要な機能・事業所から小さく始められる料金体系で、効果を確かめながら導入を広げられます。

※4 ICT 導入後の割合は実証事業におけるタイムスタディ実測値、AI 活用後の割合は AI 機能による削減効果を加味した当社試算

■安心・安全・信頼性への取り組み

2026 年 7 月 31 日、ASPIC の「生成 AI 利用クラウドサービス（ASP・SaaS）の安全・信頼性に係る情報開示認定制度」において、同制度における第一号の認定（認定番号：生成 AI 0001-2607、対象サービス：カナミッククラウドサービス）を取得しています。AI 処理は AWS 国内リージョンの専用クローズド環境で行い、お客様の業務データを AI の再学習や第三者提供に利用することはありません。総務省・経済産業省「AI 事業者ガイドライン（第 1.1 版）」及び厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン（第 6.0 版）」を踏まえた設計・運用を行っているほか、プライバシーマークを取得し、SOC1 Type II レポートも取得しています。

■代表者コメント

代表取締役社長　山本拓真

「このたび、ASPIC AI・クラウドアワード 2026 において最高位の総務大臣賞をいただき、大変光栄に存じます。当社は創業以来 26 年にわたり、地域包括ケアを支えるクラウドサービスを提供してまいりました。介護現場の事務負担を AI で軽減し、生まれた時間をケアへ返すという私たちの取り組みが評価されたことを励みに、今後も安心・安全な『人間中心の AI』を、日本と世界の介護現場へ届けてまいります。」

■今後の展開

当社は今後、AI エージェント 100 機能の実装と AI ロボシリーズの拡充、介護 AISaaS への完全移行と障害福祉分野への展開を進めてまいります。あわせて、自治体・医師会・医療機関・介護事業者を「地域単位」でつなぐ情報連携基盤や、厚生労働省が推進するケアプランデータ連携システムとの連携を通じて地域包括ケアを支えるとともに、総務省の実証事業を起点としたシンガポールを拠点に、ASEAN 地域への展開を進めてまいります。介護ソフト企業から、AI で地域包括

ケアを支えるプラットフォーム企業へと進化し、介護・医療・子育て分野のDXを通じて、超高齢社会の課題解決に貢献してまいります。

■「カナミッククラウドサービス」について

超高齢社会に求められる「地域包括ケアシステム」の実現に寄与するために、地方自治体や医師会及び介護サービス事業者向けの多職種間連携を可能にする地域連携型クラウドサービス。多職種他法人間の連携を目的とした情報共有システムと、介護事業者向けの業務システムをラインナップしております。

以　上

【会社概要】

社　　名：株式会社カナミックネットワーク（東証プライム上場：3939）
本社所在地：東京都渋谷区恵比寿4-20-3恵比寿ガーデンプレイスタワー31階
代　表　者：山本拓真
設　　立：2000年10月

【本件に関するお問合せ先】

株式会社カナミックネットワーク　管理部
所在地　〒150-6031
東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階
ＴＥＬ　03-5798-3955　　ＦＡＸ　050-3537-1207